

事務事業評価シート

令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		31200 公園維持管理費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
(1) (公園維持管理) (市民参加による公園の美化活動)			一般	8	3	4		☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	20	公園の充実	根拠法令	都市公園法、旭市立公園条例			
	施策の展開	37	公園の維持管理	戦略事業	179 公園維持管理			
	施策の展開			戦略事業	180 市民参加による公園の美化活動の促進			

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで		公園の維持管理及び苦情処理。施設の新設などの工事を行う。 【公園の種類・箇所数】①袋公園・旭スポーツの森公園・旭文化の杜公園などの都市公園(11箇所)、②海上コミュニティ運動公園・三川ふれあい公園・万歳自然公園などのその他の公園(7箇所)、③宅地開発の際に帰属された公園(通称:宅造公園)44箇所、④海岸トイレ(3箇所) 【維持管理業務内容】①公園内の清掃、除草、樹木の管理(剪定・施肥・薬剤散布)、芝生の管理(芝刈・施肥・薬剤散布)を行う、②遊具・トイレなど施設の点検、補修、改修、修繕を行う、③公園利用者及び周辺住民から寄せられる要望・苦情等への対応・処理を行う。 【公園施設】トイレ、四阿、ベンチ、照明、遊具、案内看板等	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
・公園の開設に伴い、維持管理を開始。		・近年、労務単価および資材単価の高騰により維持管理費が増えている。 ・公園施設の老朽化に伴って修理が必要な施設が増えている。 ・公園維持管理に対する利用者の要求水準が増大している。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		公園利用者から主に下記の意見や要望が寄せられている。 ・遊具・施設の充実 ・除草・清掃作業の実施 ・樹木の害虫駆除 ・利用禁止及び制限の緩和(スケボーなど)	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1.委託料	54,430	公園維持管理・施設点検・浄化槽管理・公園清掃など
2.需用費	11,189	公園施設修繕・光熱水費・消耗品費など
3.使用料及び賃借料	7,592	土地借上料・遊具賃借料・下水道使用料・農業集落排水使用料など
4.工事請負費	22,241	公園施設新設工事・改修工事
5.その他	927	手数料・保険料・原材料
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金	1,080	防犯カメラ設置補助金
3.地方債		
4.その他	2,976	公園占用料・公園内行為使用料・ふるさと応援基金繰入金

事業費	費目内訳	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費	1.委託料	千円	50,032	49,191	51,012	54,430	58,058
	2.需用費	千円	9,816	9,894	9,771	11,189	10,366
	3.使用料及び賃借料	千円	9,412	8,122	7,871	7,592	7,643
	4.工事請負費	千円	8,236	8,203	9,815	22,241	5,514
	5.その他	千円	1,388	1,137	741	927	1,375
事業費計(A)		千円	78,884	76,547	79,210	96,379	82,956
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円			845	1,080	210
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円	133	98	289	2,976	3,132
	5.一般財源	千円	78,751	76,449	78,076	92,323	79,614

前年度増減理由: 公園施設新設工事の実施による増。

従事職員数: 常時 3 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) ・公園の維持管理(清掃・除草・樹木管理・芝生管理・施設点検・施設修繕) ・公園施設新設工事及び改修工事	ア 施設数(都市公園・その他の公園)	箇所	17	17	18	18	18
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 施設数(宅造公園)	箇所	43	44	44	44	44
	対象意図 ・都市公園 11箇所 ・その他の公園 7箇所 ・宅造公園 44箇所 ・海岸トイレ 3箇所 ・利用者が安全で快適に利用できる	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
目的	対象意図	ア 公園管理に対する苦情件数	件	68	45	35	38	52
	対象意図	イ 公園の美化活動を行う団体数	団体	15	15	15	15	15

(4) 事務事業優先度評価の結果

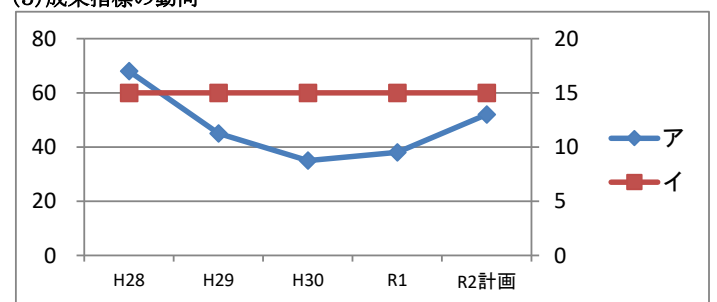
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			(11)
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	数値増=成果向上	比較
	【コメント】(低下の場合、その理由)					成果動向
	③ 今年度取組事項(2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	引き続き適正な管理を継続していく。	